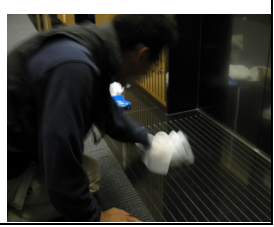


# 萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、こんにちは。すっかり秋めいてきましたね。日に日に寒くなっていますが、昼間は、まだ暑かったりして体調管理が難しいです。軽いベストを一枚用意して、いざという時に寒い思いをしないようにして下さいね。最近、鼻炎から蓄膿症になりかけて漢方を飲み始めたのですが、鼻詰まりに効くとうたっているのに、以前よりも鼻詰まりがひどくなって困っています。薬の効能が出てくる前兆だと勝手にいい方に解釈している堀内貢次です。

## 丸山林道から源氏山はもう紅葉です

11月の3連休はいい天気でしたので、地元増穂町の山に登ってきました。車で、目の前に見える山を登ると南アルプスに抜ける丸山林道に入っていきます。ひたすら登ると、

櫛形山分岐の辺りから、源氏山登山道があります。既に標高1800mくらいの高さまで登ってきているので、空気は澄んでいて寒いくらいです。木々は紅葉が始まっていて、なんか得した気分になりました。肝心の山登りは、少し標高が高いせいか、かなり息切れし、呼吸困難になりましたが、何とか登頂できました。頂上は原生林が生い茂り幻想的な場所でした。



## 「モカクリームの定期メンテ」

モカクリームは、色味や柔らかな感じが受けて、今でも人気のある石材ですが、吸水性がかなり高い石種で、床面に使用するとかなり汚れやすいのが欠点です。

モカクリームのようなライムストーンには、通常コート処理するのが普通で、今回の現場も3年前に、浸透性のコートを塗布してあるのですが、どうしても歩行の多い部分は経年変化で汚れてきてしまうようです。

写真左上は洗面カウンターの足元の床部分で、決まった所で身支度をするので、どうしても汚れが目立ってきてしまいます。表面の汚れは付いていますが、浸透した部分のコートは当然、生きていますので、洗浄は、シミ抜き剤と、メラミンのスポンジで撫でるようにこすると、比較的簡単に

除去できます。(写真右)

最後に、歩行によるツヤボケも3年以上経つと起っているため、ポリッシャーによるダイヤモンド研磨を行います。#800から立ち上げ、#3000位の3工程で通常



の水磨き仕上げ程度になります。滑りの問題やすぐにツヤが無くなることを考慮すると、この位の仕上げが一番良いのではないかと思いますが・・・。



## 玄昌石のお色直し

ある住宅公園のモデルハウスに玄昌石が敷いてあるのですが、経年変化でどうしても、表面が荒れてきて白っ茶けてきます。

黒い敷物は、石に限らず、汚れが目立つので厄介ですね。そこで定期メンテが簡単にできるように、半塗膜仕上げのコートで



お色直しします。黒味が引き立って来ましたね。暫くの間は、雨が降ると玉のように水を弾きますが、すぐに馴染んでいきます。

(編集後記) 最近、デジカメと、携帯電話がほぼ同時期に壊れました。毎日のようにどちらかのカメラを使っていたので、カメラ機能が使えなくなると、とても不安になりますね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [kandsstg@jt4.so-net.ne.jp](mailto:kandsstg@jt4.so-net.ne.jp)